

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月31日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4270400940
法人名	中村合名会社
事業所名	ケアガーデン オアシス グループホームつきとほし
所在地	〒854-0001 長崎県諫早市福田町2番22号 (電話)0957-35-5180

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年3月24日	評価確定日	平成20年4月18日

【情報提供票より】(平成19年12月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員	18 人
職員数	15 人	常勤	11 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 14, 4 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての 2階 ~ 3階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	3,000円・実費	
敷金	有( 円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有り	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

### (4) 利用者の概要(12月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	9 名	要介護2	6 名		
要介護3	1 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87 歳	最低	74 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	犬尾内科医院・みぞこし歯科医院
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームの母体法人は明治38年万物卸問屋として創業し、合名会社を設立した。諫早の地で、長く商売をさせてもらったという感謝の意を、福祉貢献という形で恩返しをしたいという思いから、設立された経緯がある。ホーム周辺には病院、公共施設、神社などがあり、賑やかな中心街で交通の便も良く、家族の面会も多い。利便性に富んだ立地である。また、全スタッフはケアの中心となる指針として、「プロ意識・責任感・目配り・気配り・報連相打」とキーワードをおき、日々のケアに従事している。一人ひとりの思いを大切に、「自分の親だったら、どうしてあげたいか」ということを念頭に置き、家族の一員としての思いを大切にしている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善計画シートを活用し、ホーム全体で改善に向けた取り組みをされている。事故報告書の様式は前回評価後、一部変更作成し、再発防止に努めるなど積極的に改善に向けて努力している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員に自己評価を配布し、一人ひとりがケアの振り返りの意識付けの場とし、それぞれの意見をとりまとめて、全体の自己評価を創り上げるなどの取り組みがなされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	開催回数はまだ少ないが、民生委員や近隣代表、行政職員、他ホーム管理者など幅広い方面からの参加を募り、活発な意見交換がされている。ホーム側からは地域の行事への問い合わせやまた家族の立場からは、今後のホームのあり方について具体的な質問があったりと、有意義な会議となっている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族からの意見を聞き入れる方法として、年2回の懇親会の開催や個人面談による意見の吸い上げ、運営推進会議の開催など積極的な取り組みに努力されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会にも加入しており、地域の行事にも可能な限り参加している。また総合学習、職場体験の一環として小・中・高・大学・ボランティアを受け入れたりと、世代間交流も積極的に行っている。今後は地域の行事である「お弘法さん」へもホーム行事として参加する予定である。

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初より、「世のため、人のため」の精神で慣れ親しんだ土地にグループホームを設立し、各ユニットで理念、目標を掲げ実践の柱としている。今後更に地域密着を重視した理念を検討中である。		ホームとして地域の中うまく溶け込んでいく為に理念の見直しを図り、ホームの存在や、さらには認知症に対する理解を地域へ求め続ける姿勢を今後も継続して行かれるよう期待する。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議の場、日常生活場面において、理念についてスタッフ間で確認し合い、意識の統一化に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会にも加入しており、地域の行事にも可能な限り参加している。また総合学習や職場体験の一環として教育機関やボランティアを受け入れたりと世代間交流も積極的に行っている。今後地域行事である「お弘法さん」への参加も予定している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の内容は改善計画シートを活用し、ホーム全体で改善に向けた取り組みをされている。自己評価も全職員が意義を理解し、自己の振り返りの場として評価を活かしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催回数は少ないが、民生委員や近隣代表、行政職員や他ホーム管理者など幅広い方面からの参加を募り、活発な意見交換がされている。ホーム側からは地域の行事参加への問い合わせや家族の立場からは、今後のホームのあり方について具体的な質問があったりと有意義な会議となっている。		

グループホーム つきとほし

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議でも行政職員の参加もあり、徐々に会議以外での連携を深めていこうとしている状況である。外部研修の情報収集や行政による専門職の活用も視野に入れて、今後もサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	以前はホーム便りを発行していたが、個人情報の取り扱いを重視し、個人宛の便りは保留中である。家族の面会も多いため、来訪時に報告したり、電話にて随時報告している。異動については来訪時に報告したり、ホーム内にスタッフの顔写真を掲示している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見を聞き入れる方法として、年2回の懇親会の開催や運営推進会議、個人面談による意見の吸い上げなど積極的に取り組まれている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の異動はほとんどなく、開設当初からのスタッフも多いため、馴染みの関係が保たれている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加は公休を利用したり、またスタッフ会議の場で内部研修の場を設け、徐々に研修を受ける機会を増やしている。また外部研修参加者は復命書を提出し、他スタッフへ回覧するなど知識の共有化に努めている。さらに他機関より、スーパーバイザーを週2回定期的に派遣依頼し、職員のメンタル面のケアやケアスキルアップに努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	諫早市連絡協議会に加入しており、グループホーム同志交流する場を持ち、研修会にも参加している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	併設のデイサービス利用者が入居するケースも多く、本人にとっては見慣れた環境でのサービス利用開始へと、繋がっている。また入居決定前にホーム内の見学を行うことで安心と信頼を深めるよう、取り組みをされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	まず、本人の性格を把握することから始め、おだやかに落ち着いた生活が過ごせるよう、気持ちを汲み取ること努力している。入居者から教えて頂くことも多く、共感し感謝の心を忘れないで日々を過ごしている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	入居時や生活を共にしていく中で思いや意向の把握を行い、その人らしい暮らしの支援を行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護計画を立案するに当たり、アセスメントを十分に行い、個々の問題点を分析した上で計画に反映させる取り組みを行っている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	スーパーバイザーからの助言を受けたり、モニタリングを綿密に行い、現状に即した介護計画の見直しを行うよう、努力している。		

グループホーム つきとほし

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設のデイサービスの設備を活用し、希望者は歩行訓練等を自主的に行っている。通院支援や外出、外泊などの本人、家族の要望も積極的に聞き入れている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医との関係を尊重し、継続しており、家族からの協力を得ている。また必要に応じて通院同行や往診も依頼している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時や日々の暮らしの中で重度化や終末期に向けた対応をどうしていくかは確認しているが、今のところ個々の意思確認を文書として具体化するところを検討中である。		ホームとしての方針の明確化を図り、本人、家族が望む対応を再度確認し、常に関係者が方針を共有していく姿勢を保つことが大切である。又、安心・信頼を得られることに繋がると考えるので、今後、検討する事に期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録物は事務所内に保管し、人の目に触れることがないように、取り扱いに留意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間以外は一人ひとりが自由に過ごせるよう、個人のペースを大切に、時間の流れをスタッフが押しつけてしまわないよう、常に配慮されている。		

グループホーム つきとほし

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	訪問時も入居者が自主的に家事に参加している場面がみられ、役割分担が出来ていた。スタッフも同じテーブルで同じメニューを食べており、会話も多く、楽しい食事時間となっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間や曜日を画一的に決めてしまわず、自由に希望の時間に利用することが出来るよう、時間的配慮に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	中庭の草刈りや家事、買い物への同行、また生活歴や趣味を活かして、生け花やカメラ撮影を依頼したり、入居者も生き生きとして張り合いを持って日々を過ごしている。楽しみごととしては月1回、抹茶を頂く茶話会を開催し、好評を得ている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	家族の協力も多く、美容室やお墓参りの外出、老人会サロンへの参加など、個別の対応で外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	交通量の多い建物前面の道路、建物の2、3階部分の施設を考慮し安全を重視して、1階玄関はインターホン対応、一部居室の窓に開閉制限をつけているが、各ユニットの玄関ドアは施錠しておらず、自由に入出入りできている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の立ち会いのもと、避難訓練を定期的に行っている。夜間帯の避難訓練初期消火訓練を含む自主訓練や災害のための備蓄などは、今後の課題としている。		ホーム周辺は住宅地に面しており、地域住民の協力は比較的得やすい。今後は地域住民の訓練への参加も視野に入れた積極的な災害対策への取り組みに期待したい。

グループホーム つきとほし

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂食状況や水分量(必要時)を日々把握している。今後、関係機関を活用し、栄養士によるアドバイスを受けるなど栄養管理の支援強化を行うなど検討している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	すべての入居者が過ごしやすいよう、テレビの配置を考慮したり、採光に留意したり、また食事に集中できるよう、不穏行動を起こしかねない環境を排除する等(テレビ画面に人がいると思い注意がってしまうため、食事時間のみ画面に目隠しをしているなど)の細かい工夫がなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使いなれた家具や趣味の物、写真が置かれ、過ごしやすい居室の配慮がなされている。		